

## まちづくり

\*\*\*\*\*

提案・意見

JR参宮線のエコ化等について

現在、自動車においては技術革新と環境問題の高まり、燃料高騰による省エネニーズによりハイブリット車やPHV、燃料電池車が普及しつつあります。クリーンディーゼル車もまた然りです。

ただ、伊勢市を走っているJR参宮線においては、伊勢という自然と調和した観光施設のある地域を走ってはいるものの排ガス出しまくりに、騒音も凄いと昔から変わっていません。

全く環境に優しくないというのが実情です。

伊勢に来ないと乗れない不思議な電車という意味も含めて例えばフリーゲージトレインとか、ハイブリットクリーンディーゼル車両とか

はたまた、燃料電池車両とか、また電車と上記車両とかのハイブリットなどの実証線路も含めた誘致を観光促進の一つとして取り組まれては如何でしょうか？

## 回答

この度は、貴重なご意見をいただきありがとうございました。

今回ご提案をいただいた件について、去る7月12日にJR東海の担当者にお伝えし、状況を確認しました。

ご提案いただきましたフリーゲージトレイン（軌間可変電車）やJR東日本の一部区間で運転されているハイブリットシステムを採用した車両については、JR東海では、現在のところ導入の計画がございませんでした。

せっかくご提案いただきましたが、上記のような状況ですので、何卒、ご理解をいただきますようお願いいたします。

担当課

交通政策課

## 観光

\*\*\*\*\*

提案・意見

観光スポット付近の情報サービス拡大について

最近 巷では、IDIOという第三の放送サービスが一部大都市圏にてサービス開始され順次田舎への配信も始まるようです。

しかし、我が伊勢市においては観光地として認知されておりサミットにより知名度向上図られてはいるものの観光客への地域のイベントなどの情報配信に積極性が見られません。

訪れる観光客がほしい情報などのサービス提供はケーブルテレビでは限界があると思います。

盆正月や連休などの期間限定でもよいので地域ワンセグ活用による情報配信、IDIOの早期サービス開始促進、地域FMの起案限定開局も含めて検討いただけるとよりよきおもてなしができるかなと思います。

## 回答

ご提案ありがとうございます。

ご提案いただいたi-diolは、放送波を活用したデジタル放送で、マルチメディア放送を目指しているものです。電波放送のため、メリットとしては視聴者が増えても映像の品質やデータ通信速度が低下しないことが上げられます。一方で、情報を受ける側としては受信にチューナーが必要であることや、放送エリア内でなければ受信できないということもあります。また、情報を発信する側としては、放送するコンテンツを作成する必要があるとともに、発信するための委託料などの費用が必要となることも考えられます。

一方、SNSでの情報発信は、受信するのに特別な機器は必要なく、また、コンテンツを作成する必要もなく、発信した内容を日本のみならず世界中どこでも瞬時に受け取ることが可能です。さらに、SNSであれば、双方向性もあることから、コミュニケーションをとることもできます。現在伊勢市ではFacebookにて観光情報等を発信しています。

<https://www.facebook.com/IseshiKanko/>

また、他にもタクシーやバスに設置された画面により、観光情報を移動中に見てもらえる事業も実施しています。

なお、伊勢商工会議所は多言語に対応した観光アプリを開発しております。

<http://www.kazasu.sakura.ne.jp/>

今後も即時的な情報の発信と、より効果的な媒体等について、各所と協力し検討しながら情報発信に努めていきますので、ご理解いただきますよう何卒よろしくお願いいたします。

担当課

観光誘客課

# 防災

\*\*\*\*\*

提案・意見

今一色小学校の構造耐震判断指数について

今一色小学校の構造耐震判断指数は $IS \geq 0.7$ 以上で安全と言うことですが、 $CT-SD \geq 0.3$ 以上なければ粘りの指数が大きいものは建物の場合は大きな変形が生じて大破する場合がありますと聞きましたが、 $CT-SD \geq$ はいくつの数値がありますか、検査から15年以上がたっていますがこの数値は維持できているのですか

回答

建物の耐震性の判定は、「構造耐震判定指標  $I_{so}$ 」と実際の建物が保有する「構造耐震指標  $I_s$ 」を比較して判断することは前回お答えしました通りですが、その前提条件として今回お尋ねの $CTU \cdot SD$ が0.3を超えることとされております。

したがって、 $CTU$ （構造物の終局限界における累積強度指標）の値と $SD$ （形状指標）の値の積は0.3を超えており、耐震性の判定条件を満たしたうえで安全であると判断しております。

実際の建物の経年劣化等に関する事項につきましては、施設管理職員による全施設の現地確認を常時実施し、学校からの連絡によってもこれを補完することで危険箇所等の発見、維持保全修理に努めており、安全性を維持しております。

担当課

教育総務課

## 教育

\*\*\*\*\*

提案・意見

文化講座（サークル）について

俳句をこよなく愛する者です。文化講座（サークル）で是非とも学習できる場を作ってくださいこと切にお願い申し上げます。

回答

文化講座（サークル）について、ご提案をいただき、ありがとうございます。ございます。

現在伊勢市では、二見・小俣・御園公民館で公民館講座、伊勢市生涯学習センターいせトピアでセンター講座を開催しております。今回いただきましたご提案は、今後の講座開催の参考にさせていただきます。

また、伊勢市生涯学習センターいせトピアで、俳句の活動をしているサークルがあります。詳細については、いせトピア（電話0596-21-0900）または社会教育課（電話0596-22-7886）までお問い合わせください。なお、いせトピア及び伊勢市のホームページにも掲載しております。

担当課

社会教育課

## 教育

\*\*\*\*\*

提案・意見

夏の部活動について

今年猛暑が予想されています。  
ここ数年、暑さもだんだん厳しくなってきました。  
学校での部活動で熱中症対策をしっかりとしてほしいです。  
クラブによっては先生が来ていなかったり、休憩が少なく水分を取れる時間が少ない部活もあると聞きました。  
気温や湿度が高くなると予想されていて熱中症の危険指数が高いと発表されている日は部活動を制限してほしいです。  
それは中学だけでなく高校でもそうしてほしいです。  
高校の方が部活動は厳しいという話も聞きました。  
高校は伊勢市の管轄ではないかもしれませんが、大切な子供の健康のことなので、三重県などと連携して、危険な日の部活動について活動を禁止するとか少なくするとか、対策をしてほしいです。  
子供達は大変でも先生や先輩や周りのことを気にして言い出せなかったりするのです。  
よろしく願います。

回答

熱中症対策につきましては、今年度も本格的な猛暑が始まる前の5月に、環境省から各小中学校に熱中症の予防と対策用のDVDが配布され、学校での活用を依頼しているところです。多くの中学校におきましては、熱中症対策を含む救命法の講習会を開催し、教職員や生徒たちが熱中症予防・対策やAEDの使い方を学んでいます。また、保健体育の教科書には、子どもたちに分かりやすい具体的な熱中症予防と応急手当の資料が掲載されています。  
部活動につきましては、伊勢市としては猛暑による部活動停止の制限は設けておりませんが、各部活動顧問が気温や湿度、子どもたちの状態を適宜判断して、活動時間を短縮したり、休憩を多くとったりしながら部活動を行うよう学校に指導しております。複数の顧問が配置されていない部活動において、顧問が活動場所から長時間離れる場合は、近くで活動をしている他の部の顧問に声をかける等、子どもたちの活動の様子を見守る体制等をとっています。また、昨年度各幼稚園・小中学校に対して、携帯用の熱中症応急キットを配布し、体育館や屋外での部活動や校外での大会等で活用をしています。  
三重県教育委員会との連携につきましては、熱中症予防と対策についての注意喚起や資料の提供を受けたり、情報の共有を図ったりしております。このたびいただきましたご意見につきましても、三重県教育委員会の担当者と連絡を取り、共有させていただきました。  
子どもたちの健康についてご心配をしていただきありがとうございます。子どもたちの安全安心を第一に取り組んでおりますので、ご理解賜りますようよろしくお願いいたします。

担当課

学校教育課

## その他

\*\*\*\*\*

提案・意見

市役所の駐車場について

車を置くのに大へんでした。  
もう少しひろくしていただきたいです。  
しょうずなので（バック）

## 回答

平素は市政にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。  
ご意見を頂戴いたしました庁舎の駐車場につきましては、これまで区画数が少ないとのご意見をいただいておりますので、平成22年に駐車場設計・施工指針にもとづき駐車場の改修を行い、限られた敷地の中で1台でも多く駐車できるよう駐車可能台数を増やしてきたところでございます。  
そのため、やむを得ず駐車場区画が狭小となりご不便をおかけしているところでございますが、ご理解賜りますようお願いいたします。

担当課

管財契約課

## その他

\*\*\*\*\*

提案・意見

市長語る懇談会開催について

前回、市長と語る懇談会開催の投稿しました。  
企画調整課より、丁寧な回答をいただきました。  
ありがとうございます。  
疑問があるので、投稿します。  
市長は、懇談会開催について、今年と来年の開催を約束しました。  
しかし、企画調整課の回答では、今年度の開催としています。  
市長の回答と違います。  
何故、平成28年12月までに懇談会を開催できないのか、理由を教えてください。  
市民に対して、誠実な対応をお願いします。  
失礼します。

回答

前回にもご回答いたしましたとおり、市長が地域に出向いて市民の方々と懇談を行う取組につきましては、現在企画中でございます。実施時期につきましては、今年度内（平成29年3月31日まで）を予定しておりますが、現在、調整中でございます。実施日については、決定いたしましたら、広報いせ等でご案内いたします。  
ご理解いただきますようお願い申し上げます。

担当課

企画調整課

## その他

\*\*\*\*\*

提案・意見

議会報告会について

伊勢市議会議会報告会の開催を要望しました。  
議会事務局からの回答を頂きましたが、回答の内容に、絶望しています。

議会報告会は重要な会だとのことですが、なら、なぜ報告会の開催日時が決まっていないのでしょうか？

新たな組織にて開催するという事ですが、新設予定の「広報広聴特別委員会」は、平成27年12月定例会にて設置する予定だったではないですか。

それは、去年の議会報告会にて、市議から話を伺っておりましたし、議会改革特別委員会の会議録にも掲載されています。

それが、12月定例会でも承認されず、3月定例会でも承認されていないから、このような状況になっているのでは？

議会報告会を、重要だとは思っていない証左です。

伊勢市職員は、虚偽を弄するのを、やめて欲しく思います。

回答

ご要望いただいております、議会報告会につきましては、開催予定が決まっていない状況であり、誠に申し訳ございません。

議会報告会につきましては、ご指摘のとおり、広報広聴特別委員会で実施する予定でしたが、広報広聴特別委員会は、設置に至っていない状況でございます。

市議会としましては、現在、6月定例会において、広報広聴活動だけでなく、広く市議会のあり方について調査・検討するため、組織の見直しを行っているところでございます。

この新たな組織が設置されましたならば、議会報告会についての協議を行う予定でございますので、ご理解をたまわりますよう、よろしくお願い申し上げます。

担当課

議会事務局

## その他

\*\*\*\*\*

提案・意見

参議院選挙における新有権者への投票率向上

現在、第24回参議院選挙が行われています。  
この選挙から、18歳以上に選挙権が拡大されました。  
それに伴い、各自治体では、高校や大学において、期日前投票所を設置したり、選挙公報を設置して配布したりしています。  
三重県の選挙管理委員会でも、積極的に新有権者に向けた投票の呼び掛けや投票率を上げる取り組みされています。  
伊勢市でも新有権者に向けて何かしているのでしょうか？  
三重県選挙管理委員会では、県立高校や大学に対して選挙公報の配布を行いたいが、市町村選挙委員会の管轄なので、越権行為となり得るから、強制的なことはできないと回答をいただきました。  
高校及び大学に対して、期日前投票所や選挙公報を設置及び配布していただけないでしょうか？  
新有権者に対して、積極的な投票対策をお願いします。

回答

今回の改正により、伊勢市ではおよそ2,500人の18歳及び19歳の方が新有権者となりました。  
伊勢市の新有権者への啓発活動といたしまして、今年2月に市内9つある高等学校において、新有権者向けの啓発パンフレットを配付いたしました。  
パンフレットはA5版サイズ30ページほどで、テレビ等でご活躍されている池上彰氏が関わって作成されたものです。内容もコミック調のページやわかりやすい図表等を用い、新有権者の皆さんが選挙に興味を持ってもらえるよう作成されたものです。  
今年度につきましても、市内9高等学校へ配付する予定です。  
近年、伊勢市においても、若年層の投票率の低下が深刻な問題となっていることから、昨年度より、伊勢市教育委員会及び中学校と連携し、主権者教育の一環といたしまして、「未来の有権者啓発事業」に取り組んでいるところです。  
これは、中学校生徒会役員選挙において、実際の投票箱や記載台を使用し、できる限り実際の選挙に近い体験をし、選挙のおおまかなルールを正しく理解してもらい、選挙を身近なものに感じてもらうように取り組んでいくものです。事業期間は5年、各校1回以上実施する予定で、現在取り組んでいるところです。  
また、昨年度より市内高等学校において模擬投票が開催されています。その際には、伊勢市が所有する投票箱、記載台を貸し出し、高等学校での主権者教育の推進にも取り組んでいるところです。  
今後も新有権者への主権者教育や啓発活動に取り組んでまいりますので、ご理解賜りますようお願いいたします。

担当課

選挙管理委員会事務局

## その他

\*\*\*\*\*

提案・意見

駅前と花火スタッフどんな感じに？

伊勢市駅の正面玄関（JR）付近についてですが、雨の日は傘をたたんで、もしくはさしてからで行動する方が多いため、床がぬれ、滑りやすくなっています。少し何かの方法で改善していただけないですか。危ないです。

そして、高校生の自転車での猛ダッシュがまた危ないです、こちらでも少し気になるところです。

今年も夏に花火大会が開催されるようですが、男女平等のこの世の中、毎年なんだか男性の職員さん、スタッフさんの方が多く働かれているような気がします。

たくさん働いてくれている当日スタッフさん、職員さんなど、お祭りや大会には必要だと思います。市民や観光客、特に小さい子（お話しやすい）からしたら、女性スタッフさんももう少し必要ではないでしょうか。

回答

今回ご提案をいただいた伊勢市駅の正面玄関の床の件につきましては、去る7月5日にJR伊勢市駅の担当者にお伝えしました。

担当者からは、「ご提案いただいた内容をJR東海本社に伝え、現地を確認したところ床面の劣化はなく、現在のところ床面の張り替えなどの予定はありませんが、雨が降り、床面が滑りやすくなった場合は、床を拭くなどの対応をします」との回答がありました。

自転車の無謀運転等については、毎月第1月曜日を自転車の安全対策強化日として伊勢警察署等と連携し、イヤホン使用運転や並列運転等についての街頭指導を行っており、市では、市内の小学生に対して交通安全教育の一環として各小学校において交通安全教室を開催し、自転車の安全利用等について具体的な指導を行っております。また、市内の高校や大学に対しては、交通ルール・マナーについての広報を実施していますが、ご指摘のようなマナー違反は依然として見受けられます。

今後も継続して啓発活動を行い自転車のマナーアップを図ってまいりますのでご理解・ご協力をよろしく願います。

（交通政策課）

花火大会のスタッフにつきましては、主催者【伊勢市・公益社団法人伊勢市観光協会・伊勢商工会議所・小俣町商工会・中日新聞社】にて選出された方に当日の業務をお願いしております。ご指摘のとおり、全体スタッフの割合から考えますと、男性のスタッフが多いのが現状であります。ご意見いただきましたように、大会会場内の案内所や有料観覧席の入口を中心に女性スタッフを配置し、今年度大会を実施させていただきますのでご理解いただきますようお願い申し上げます。（観光振興課）

担当課

交通政策課、観光振興課

## その他

\*\*\*\*\*

提案・意見

伊勢ナンバーについて

車の登録ナンバーに伊勢ナンバーを作してほしいです。

### 回答

いわゆる「ご当地ナンバー」につきましては、平成18年に最初の公募が行われ、これまでも伊勢志摩地域で議論されてきた経緯があります。

そのようななか、平成25年2月26日に国土交通省から、追加公募を行うことが発表されましたが、応募に当たりましては次のような導入基準等が示されていました。

1. 地域特定等について一定のまとまりのある複数の市町村の集合であること。
2. 登録されている自動車が10万台を超えていること。
3. 管轄する県において、自動車保有関係手続きのワンストップサービスを導入又は、3年以内の導入が県として機関決定されており、かつ、具体的な導入計画が策定されていること。
4. 当該地域の住民や自動車ユーザーの意向であることが前提で、地域を構成するすべての市町村の合意があること …等

その際に、庁内において検討いたしましたが、国土交通省が示す導入基準等のうち、少なくとも上記3については満たすことができないことから、応募するには至りませんでした。

しかしながら、すでに新聞報道でもご承知かと存じますが、現在、県と伊勢市、鳥羽市、志摩市が連携し、国に対して要件緩和等について要望を行っています。

今後につきましては、国土交通省からの追加公募等の動向を注視したいと考えております。

担当課

企画調整課

## その他

\*\*\*\*\*

提案・意見

冷水機について

市役所内に、冷水機もしくは、無料のお茶のサーバーがほしいです。  
最近はどこかの病院へ行っても 冷水かお茶は無料でいただけます。  
お茶はお金がかかるので しかたないですが 無料の水（冷水）がほしいです。

回答

平素は市政にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。  
ご提案いただきました冷水機につきましては、不特定多数の方がご利用になることから衛生面において管理が難しくなっております。また、冷水機はかつては市役所に設置いたしておりましたが、飲料水の多様化・嗜好性等からより衛生的で手軽に購入できる自動販売機の普及により利用頻度が減少し、撤去をさせていただいております。これらのことを踏まえまして、冷水機の設置は行っておりませんのでご理解賜りますようお願いいたします。

担当課

管財契約課

## その他

\*\*\*\*\*

提案・意見

選挙管理委員会は投票率を向上させたくないのですか？

以前、参議院選挙について、投票率を向上させるための施策として、高校及び大学に対して、期日前投票所の設置及び選挙公報の設置配布を要望しましたが、それに対する回答がありませんでした。

選挙管理委員会は、質問に答えて下さい。

高校生に対して選挙に関する副読本の配布や模擬選挙の実施の取り組みを上げましたが、それで実際の投票率が向上するという理由を教えてください。

期日前投票所を設置すれば、確実に投票者がでてくるではないですか。

選挙公報は、行政資料です。

なぜ期日前投票所を設置しなかったのか理由を説明して下さい。

なぜ行政資料を、配布しなかったのか説明して下さい。

## 回答

ご質問に対する回答が不足していましたこと、お詫びいたします。

高校及び大学での期日前投票所の設置についてです。

期日前投票所は、公職選挙法第48条の2第1項に規定された事由により、選挙期日である投票日に投票所へ行けない有権者の投票する権利を保障するために設置されます。

1. 職務若しくは業務又は総務省令で定める用務に従事すること。
2. 用務（前号の総務省令で定めるものを除く。）又は事故のためその属する投票区の区域外に旅行又は滞在をすること。
3. 疾病、負傷、妊娠、老衰若しくは身体の障害のため若しくは産褥にあるため歩行が困難であること又は刑事施設、労役場、留置場、少年院若しくは婦人補導員に収容されていること。
4. 交通至難の島その他の地で総務省令で定める地域に居住していること又は当該地域に滞在をすること。
5. その属する投票区のある市町村の区域外の住所に居住していること。

上記に該当する有権者の皆様が、市内4箇所にある期日前投票所をご利用いただいています。

また各期日前投票所には、期日前投票管理者1名、同立会人2名、投票用紙交付者1名、名簿対象者1名、受付1名の従事者等が必要で、投票管理者及び投票立会人、選挙事務従事者には市職員の協力等を得て設置しています。

このことから新たに期日前投票所を増設する場合、7月10日に執行された参議選の期日前投票期間に当てはめると、1箇所増設するには投票管理者17人、投票立会人34人、事務従事者85人の従事者が必要となり、少なくともこれだけの職員数が期日前投票事務に携ると選挙以外の業務への影響が大きいと考えられます。

また1箇所増設するのに約500万円の費用を要することもあり、現時点での新たな期日前投票所増設の予定はありません。ご理解賜りますようお願い申し上げます。

選挙公報の配布についてです。

選挙公報は、公職選挙法第170条の規定に「選挙人名簿に登録された者の属する各世帯に対して配布するものとする。」とあることから、高等学校及び大学への配布は実施することはありません。ご理解賜りますようお願い申し上げます。

昨年、選挙権が18歳以上に引下げられたことに伴い、高校でのこれまでの主権者教育のあり方が見直されました。

文部科学省及び総務省が作成した副読本の記載文に、「高校生の間から有権者となりうる高校生世代が、これまでの歴史、つまり今まで受け継がれてきた蓄積や先人の取り組みや知恵といったものを踏まえ、自分が暮らしている地域の在り方や日本・世界の未来について調べ、考え、話し合うことによって、国家・社会の形成者として現在から未来を担っていくという公共の精神を育み、行動につなげていくことを目指したものです。」とあります。

政治に興味を持ち、参加することのひとつの方法として選挙があげられています。それらを授業の中で学び育てていくことが、これまで課題であった若年層の選挙離れの抑止につながるものであると考えています。ご理解賜りますようお願い申し上げます。

伊勢市が配布したパンフレットは約30ページに政治や選挙について、わかりやすく表現されています。配布した高校からも「今後も配布を続けてほしい。」との要望もいただきました。今後もできる限り配布を続けていきたいと考えています。

担当課

選挙管理委員会事務局

## その他

\*\*\*\*\*

提案・意見

50ccバイクのナンバープレート

シティプロモーションとして自動車のご当地ナンバーではなく、50ccバイクの伊勢神宮、夫婦岩などを背景にしたデザインのご当地ナンバープレートの導入をして全国に売り出してはいかがでしょうか。

## 回答

この度は、市政に関する貴重なご意見・ご提案ありがとうございます。

さて、50cc原動機付自転車等のご当地ナンバープレートについては、平成28年4月の時点では、全国1,718市区町村中409市等が導入している状況でございます。当市におきましても、導入に係る研究をした経緯はあるものでございまして、ご提案のとおり観光PR等によるシティプロモーションの効果はあるものと考えております。

しかしながら、原動機付自転車等につきましては、その移動範囲が狭く他市町へのPR効果が低いこと、また特殊な形状による新たなナンバープレートの金型等作成にかかる費用が数100万円以上必要となる見込みであるため、現在のところ導入の予定はないものでございます。

今後、ご当地ナンバーに関する要望が増加していくことも考えられますため、頂戴したご提案を参考にして、引き続き研究は続けていきたいと考えておりますのでご理解いただきますようお願いいたします。

担当課

課税課

## その他

\*\*\*\*\*

提案・意見

職員の態度

この前市役所の窓口に行った時、どうでもいい会話、私語があまりにも目に余るものでした。民間では考えられない非常識さに腹が立ちました。こんな連中の為に市民は必死で納税してるのか。あれで給料がもらえるのか。市民が来たら課の者全員会釈くらいすべきではないか。挙句の果てに伊勢の民間企業と大きくかけ離れたボーナス。大都会の大企業ですか？伊勢の民間に合わせるべきです。何さまですか？今日の職員の態度見て本当に情けなく思いました。もっと教育しろ。

回答

今回、市職員の窓口での対応により、不愉快な思いをさせてしまい大変申し訳ございませんでした。

これまでも、市役所へ来庁される方々を「お客様」として接するよう、接遇につきましては、様々な場面で日頃から指導をしていたところですが、これまでの対応が十分でなかったことと反省いたします。今後は、市民の方々が、気持ちよく市役所をご利用いただける接遇を目指し、より一層指導を強化してまいります。

これからも皆様のご意見を伺いながら、よりよい市役所をめざしたいと考えておりますのでよろしくお願い致します。

担当課

職員課